



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

2019年(平成31年)3月度 理事会 議事録

【日時】2019年3月16日(土) 9:30 開始 - 12:00 終了

【場所】エネルギー総研 会議室 および スカイプ

【出席者】 会議室 7名 スカイプ 6名 計 13名

(会議室) 川村、森山、横山、川瀬、植村監事、(オブザーバ)太田量介氏、土屋雅彦氏

(スカイプ) 阪井、森口、西久保、寺田、小口、竹政監事

【欠席者】 稲葉

【審議開始準備】

- ・ 議長より指名 書記:小口、承認者:川村、阪井、森山 進行役:阪井
- ・ 前回までの理事会からの宿題事項確認 …… 各審議事項、報告事項の中で対応

【審議事項】(審議希望事項と提議者・部会名を記載のこと)

1. 会員数推移(会員:小口) ……Shiryō S1

1月度理事会後 PE191名 PEN63名 FE71名 AF28名 ST10名 合計 363名

3月度理事会後 PE192名 PEN64名 FE70名 AF28名 ST11名 合計 365名

なお、2年間会費が未納で資格失効の恐れのある方なども考慮すると、今月末で約 350名となる予想。

2. 事業報告書の印刷部数等(企画部会 阪井・西久保)

これまでは500部を印刷して、全会員に郵送配布しているが、昨年の郵送時に今後の郵送配布可否意向を質問したところ、10名程度の会員よりかさばる紙冊子よりも電子データの方がよいとの意向が寄せられた。このため、2018年度事業報告書は、従来どおり印刷部数は500部とするが、会員サイト上にPDFデータを掲示も行い、電子データ希望者にはそのリンクをお知らせすることとした。出席者より、PDFデータにはパスワード設定するなどセキュリティ配慮要との指摘あり、これも対応することとした。

3. PMI教育登録事業者(REP)の3年更新監査対応(教育部会 阪井)

2019年度は、鬼金セミナー実施に必要なPMI REP資格の3年更新時期にあたり、セミナー資料等の監査を4月から6月頃にかけて受審することとなる。監査対応は従来阪井理事が一手に行ってきたが、業務を引き継ぎのため森山理事、西久保理事にもメール写しなどで情報共有することとした。年間更新費用は例年通り1500US\$であり、4月に払い込みを行う。

4. 来年度イベント計画(教育部会 森山) ……Shiryō S5

来年度のイベント計画案をS5の表に示す。現時点で6回の鬼金セミナー(8,9,10,11,12,2月)とJSPE Day(9月)及び1回の技術セミナー(6月)を予定、会場予約(神戸側のみ)しているが、近年関東で行っている見学会、エンジニアズサロン等については森山理事繁忙のため予定できていない。これらは今後新理事やサポート会員の協力を得て計画、実施することとする。

また、PE受験登録相談会を年に1回しか実施できないが、この相談会に期待している会員も少なくないので、エンジニアリングサロンをミニ相談会とする案も説明された。植村監事より、風力発電に関するエンジニアサロンを適切な時期に会場提供も含め主催可能との提案があった。

5. 学生会員の入会金に関する細則改訂提案(会員部会 小口)

2015年5月の細則改定(3.1.4 入会金及び年会費)で、学生会員は入会金、年会費とも無料とし、その後約10名の学生会員入会があった。しかし、入金が一切不要なため明確な入会意思のないまま電子申請していた等のケースも何例もあり、意思確認に追われた。このため、年会費無料は維持しつつ、入会金のみに



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

3000 円徴収することとし、入金手続きにより入会意思の確認も行えるようにしたいとの提案があり了承され 2019 年度から適用となった。

なお、この件に関して次の問題提起もあり、継続検討となった。

- ・ 大学卒業間際に学生会員としての入会申し込みがあった場合、そのまま認めるかあるいは間もなく AF あるいは FE 会員となるのを待つべきか
- ・ シニア会員制度創設の案が昨年 11 月の合宿で出ていたが、年齢だけで会費免除などとすると、同年齢で正会員継続意思のある方との平等性をどう保つかなどが問題となる

6. PE 登録助言活動の開始（小口、会員部会）・・・Shiryō S7-1、S7-2

2016 年よりシラバス英訳支援を行っているが、翻訳証明の発行依頼や、学歴評価以外の州登録手続きの相談対応なども連鎖的に発生し、担当理事約 3 名はその対応に追われている。

このようなことから会員の自助努力を支援するという趣旨をより明確にした上で、支援の程度に応じた費用等を集約した資料 7-2「PE 登録助言活動実施要領および参加申込票」を申請のあった会員に配り、申込票の中の表中に質疑記録を残す形式に集約することとしたとの提案があった。

また、3 月 23 日開催の PE 受験登録説明会でも、この新しい要領を参加者に説明する。

これについて、次の質疑が行われた上、3 月 23 日の説明会での会員からの質問などを反映するという条件で了承された。

また、この新しい実施要領により、現在手薄な支援メンバーに新たな参加者が出てくることも期待しているとの会員部会表明があった。

(寺田) シラバスの英訳は大学から発行されるべきでは

(小口) 日本の大学では残念ながら、シラバスの英訳発行に完全対応している大学がまだ少数

(寺田) 英訳支援するにしても、NCEES CE がサンプル提示しているような、1 科目 3 行英訳程度でよいのでは

(小口) そういう考えもあるかもしれないが、英訳を依頼された側としては、意識簡訳により、依頼者が CE 評価で不利益を受ける可能性も考えて、できるだけ原和文に忠実な訳をすべきと考えている。

(寺田) このような英訳支援を行っていることはもっと理事会などで情報開示して欲しい

(川村) シラバス英訳活動については、都度理事会で報告し議事録にも載せている。これまで情報開示していないとの指摘はあたらなと考える

(監事) シラバス英訳は本来大学が発行すべきものであるもので、それを大学側に促すような発信が JSPE より行えればよいと思う。

(寺田) 文科省の担当者などに、シラバス英訳推進を働きかけることもできるが

(川村) いきなり文科省に話をもっていっても、大学側の事情がすぐ改善されるわけではないので、そういう動きは尚早と考える

7. 「世界の技術者資格」(仮称)出版企画予算化（川村）・・・ Shiryō S8

10 月の会員アンケート結果で要望の多かった、新たな書籍出版のため、川村が 12 月から 2 月にかけて JABEE 関係者および出版社からの情報収集を行った(詳細は資料 S8)。この結果、出版社側から口頭提案のあった買い取り前出版の案をもとに、2000 円/冊 x500 部 = 100 万円 程度の予算を 2019 年度に組み込んでどうかとの提案が川村よりなされた。

これに対し、まだ書籍の内容自体が検討できていない状態であるので、まずは数 10 万円程度の調査費を組み込む等が妥当であろうとの意見が大勢であった。

本件については、4 月にかけて新たな動きがある可能性もあり、それらも考慮した予算案を企画部会より次回理事会に諮って協議することとした。



特定非営利活動法人 日本プロフェッショナルエンジニア協会

8. NSPE 総会派遣規定の見直し案 (渉外 横山)

1月理事会より継続審議となったが、候補者募集などの進め方は、従来通りとしつつ、過去10年以上変わっていない派遣者への補助費用額(20万円/人など)については来年度予算に若干余裕も見込まれることから増額する方向で至急具体化を図ることとした。

なお、NSPE年会費改訂(299ドル)に関する会員への連絡が1月理事会で申し合わせたにも関わらず、行えていなかったため、本理事会終了後に至急対応することとした。川村から、NSPEの3月理事会でこの件が議題となっており、4月に入るとNSPE側から新たな動きがあるかもしれないとの情報提供があった。

9. 2019年度理事候補(事務局 阪井) Shiryo S2(Name)

森山理事から、次期会長受任意思表明書が提出され、了承された。

また、次の方々から次期役員への立候補があり、役員業務抱負書および他の正会員による役員就任推薦書の提出があった。

新理事候補者: 太田量介氏(PE-0248)、義本正実氏(PE-0100)、藤村宜孝氏(PE-0233)

新監事候補者: 土屋雅彦氏(PE-0025)

出席した太田氏、土屋氏から抱負書の説明および(欠席した義本氏、藤村氏分については推薦者が抱負書を代読した。これに対して異論はなく、総会に次期役員として提案推薦される見込みとなった。

現職役員12名のうち、満期退任者などを除く次の7名から役員再任の意思表示があり、各自が抱負書を説明した。

理事: 森山、小口、森口、西久保、川瀬、寺田、 監事: 竹政

これに対し、会長および他の複数の役員から次の意見が出された。

- ・ 再任希望理事の中には、昨年秋に委嘱税理士への契約外要求を行った方も含まれる。その方の抱負書を読む限り、行った行為に対する反省等が述べられていない。また行事参加実績が皆無に等しく他の現職役員との面識もほとんどないという現状を考えると、抱負書に書かれたような様々な事項が本当に遂行されるのか不安である。理事会としてこのような方を次期理事として総会に提案するのは妥当ではなく、一会員として出直して頂くのが妥当ではないか。

これに対し、当該理事からは、セミナーもよいが様々な社会問題に対する情報発信で貢献していきたい。これまで活動が十分に行えていないのは、部会割り当てのない特命という立場であったからであるとの説明があった。

他の現職理事再任について異論はなく、上記理事の扱いや会員で運営協力して頂ける方々のリストアップも含め次期会長候補が体制構想を具体化し、次回理事会で協議することとした。



【報告事項】（報告予定事項と提議者・部会名を記載のこと）

1. 2018 年度決算見込み および 2019 年度予算編成表案（会計：川村）・・・ Shiryo H1-1, H1-2
2018 年度会計部会事業報告下書きを Shiryo H1-1, 2019 年度 予算編成表案を Shiryo H1-2 とし
提示があった。2018 年度会計については、収支ほぼバランスしそうとの報告があった。4/13 に会計監
査が行われる予定である。予算編成案は、現在の各担当部会で見直すこととした。

2. 赤坂溜池事務所退去報告（森山/川村）

1 月末をもって、JPEC が溜池事務所を退去し、赤坂の別の場所（〒107-0052 東京都港区赤坂
2-15-9 石井第3ビル 201 号室）に事務所を移した。

これに合わせ、同事務所内に残置されていた JSPE 所有の書籍、書類は森山/川村の自宅に保管し、
JSPE のシェアオフィス事務所は神田 MIXER（〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-5-14 本町ビ
ル 5F）に移した。また、「溜池山王事務所使用協定書」の解約についても JPEC 廣瀬理事と当方阪井
事務局長との間で了解された（2 月 3 日付メールにて）。

これに伴い、総会議案に定款第 2 条の改正を提案することとなる。

3. 春号マガジンの特集記事（広報部会 西久保）

4 月号マガジンに 1 月理事会で申し合わせた「PE・役員になってよかったこと」を各役員より投稿するよう広
報部会より要請があった。

併せて書籍紹介の記事についても投稿要請があった。

なお、「PE・役員になってよかったこと」は、特集記事とするか、分散しての掲載とするかを広報部会で検
討することとなった。

【議事承認印】

承認	川村（2019.3.19）
承認	阪井（2019.3.30）
承認	森山（2019.3.19）
書記	小口（2019.3.16）